

2. 現場重視の再発防止対策の取り組み強化について
 ~ 地域の視点に立った発電所運営管理システムの構築 ~

(1) 安全管理・品質管理の徹底

- ・原子力安全・品質特別強化活動の実施（安全総決起大会等）
- ・現場管理の改善（5Sパトロール、異物混入撲滅対策等）
- ・品質保証活動の徹底（品質保証教育等）



協力企業と合同の安全総決起大会



クリーンアップ作戦の展開

(2) 協力企業とのコミュニケーションの強化

- ・地域の視点に立った発電所運営管理システムの構築に向けた活動
- ・協力企業との意見交換会の開催
- ・電子掲示板等を用いた情報共有 等



ご意見検討会の審議の様子



協力企業と当社との意見交換会



電子掲示板による情報提供

(3) 情報公開の徹底

- ・「報告する文化」「まずは第一報」
- ・タイムリーな情報配信

原子力発電所における不適合事象発生時の公表基準（平成15年11月10日公表）

区分	内容	公表方法
	法律に基づき報告が必要なトラブル	夜間・休祭日であってもすぐに公表
	運転管理の上で重要な不具合	夜間以外は休祭日であっても公表
	信頼性確保の観点からお知らせする不具合	前日の不具合を翌平日に公表
その他	上記以外の不具合	まとめて当社のホームページに掲載

公表実績（平成15年11月17日より運用開始）

区分	福島第一	福島第二
	6件	2件
	43件	21件
	58件	34件
その他	5,604件	3,120件

（11/16までの1年間の累計）

3. 地域共生への取り組み

- ・両発電所の持てる人・物・情報といった資源を活かしてご協力できる対応策を検討
- ・具体的には、作業環境改善工事、取引相談窓口の開設、地元雇用への配慮、立地町行政区等との懇談会、地域の声活用委員会（地域の声お応えシステム）等を実施

これからの発電所運営

1. 「透明性」
 - ・今後は発電所内のことを皆さまへ積極的に発信・公開し、社会常識にも照らして、真の意味での「させない仕組み」の構築を図る。
2. 「一体感」
 - ・発電所構内で働く約1万名全員が、「この発電所は自分の発電所……だから、より安全に、より良い品質へ」というマイプラント意識が持てるようコミュニケーションを一層活性化させ、「しない風土」の醸成・定着を図る。

より高い安全性と品質を目指して、常に改善しながら、また地域の皆さまのお声に耳を傾けながら、発電所運営に取り組んでまいります。